

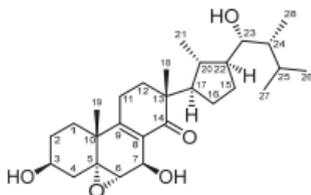
23PO-am051

エリンギ子実体のステロイド - 新規 15(14 → 22)-abeo-ergostane 型ステロイドについて -

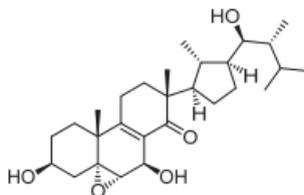
○菊地 崇¹, 磯部 真椰¹, 尹 康子¹, 山田 剛司¹ (¹大阪薬大)

【目的】エリンギ (*Pleurotus eryngii*) はヒラタケ科ヒラタケ属の食用キノコであり、イタリア、フランス、ロシア南部、中央アジアなどを原産地とする。我々は新規生物活性化合物を見出すことを目的として、エリンギ子実体メタノールエキスの成分探索研究を行ってきており、eringiacetal A, pleurocin A および B など数種のステロイドについて報告している。さらなる探索研究の結果、2 種の新規 15(14→22)-abeo-ergostane 型ステロイドを単離し、その絶対構造を明らかにしたので報告する。

【方法・結果】香川県産乾燥エリンギ子実体 (11.03 kg) を、メタノールで抽出し、メタノールエキス (2625 g) を酢酸エチルおよび水で溶剤分配した。得られた酢酸エチル画分 (240 g) を SiO₂ カラムクロマトグラフィーおよび逆相 HPLC で分離精製し、二種の新規 15(14→22)-abeo-ergostane 型ステロイド (**1**, **2**) を単離した。化合物 **1** および **2** の絶対構造は、それぞれの tris-*p*-bromobenzoate について、X 線結晶構造解析を行い、決定した。化合物 **1** と **2** は、互いにエピマーの関係にあり、**1** は、23*R* 体、**2** は 23*S* 体であった。



1



2